

平成25年度 二宮町ごみ減量化推進協議会 会議録

日 時：平成25年6月3日(月)

午前10時～午前11時50分

場 所：二宮町役場2階 公室

出席者：平田委員 / 浅田委員 / 大矢委員 / 山田委員 / 西川委員

長尾町民生活部長

事務局：筑紫生活環境課長 / 須田生活環境班長 / 雨宮主事補

傍聴者：1名

1. 開会

会長よりあいさつ

会 長：昨年度のごみ減量化推進協議会では、ごみ処理の広域化が控えている中で、広報だけでなく説明会といった形で地域に出てください、ごみ減量化に対する意識を向上させてほしい等の意見を出したところ、町職員には負担が大ききように思いますが、今年度早速17か所で地域説明会を開催して頂けることになりました。ごみ減量化推進協議会は年間3回設定されていますが、2回目3回目は広域化に向けたごみの分別方法等を議論していただく機会にして、本日は地域説明会の中身を中心に議論したいと思いますので、よろしくをお願いします。

2. 議題

- (1) 水分ひとしぼり・ごみ減量化地域説明会について
- (2) 水切りキャンペーンについて
- (3) その他

会長より議事進行

- (1) 水分ひとしぼり・ごみ減量化地域説明会について
『水分ひとしぼり・ごみ減量化地域説明会ついて説明』

【質問・意見】

会 長：事務局に地域説明会の資料を作ってくださいましたが、昨年度議論した内容が十分体现されているのか、あるいは修正、付け足しが必要かをご意見をいただきましたと思います。皆様が考えている間、私から感じた事を言わせていただきますと、見せてもらった映像の中で、ごみかごみでないかのクイズがありました、占有

者の意思等の違いの説明をはっきりしてもらいたいです。

事務局：わかりました。

委員：不用品回収業者の話題のところ、トラブルが起こった等の話を聞く事もありますが、業者全てが悪い方ではないので言い方を変えた方が良いです。

事務局：出す時には気を付けてくださいといった内容にできるか検討します。

委員：昨年度見せていただいた素案には、広域化に伴う分別方法の変更点についても説明がありましたが、今回見せていただいた中になかったのはなぜでしょうか？

事務局：広域化に伴う分別方法の変更点についても話す予定でしたが、広域化は再来年の事ですので、そちらは来年説明させていただき、今年のごみの水分ひと絞りの内容を強調して行います。

会長：説明はだいたい 35 分程になっており、よくコンパクトにまとめられていました。長いと飽きてしまいますから。

委員：ごみの処理先を示した映像について、地図上に矢印で表すだけでなく、文字で処理先を書いた表もあった方が良いでしょう。

事務局：地図の空白部分に、処理先を表で入れます。

会長：二宮町の住民はごみ処理に対して頑張っていると周りから聞きます。今回、ごみ減量化地域説明会を 17 か所でやることで、それが来年再来年に繋がり、広域化の具体性が出てくる時期には、かなり住民の意識も高くなっていると思います。このような説明会は、中身を良くすることも大事ですが、実際に実施する事が大切で、繰り返しやる事により住民の意識が高まります。また、水切りキャンペーンの運動名についてですが、今絞ってもらっているところから、さらにもうひと絞りやってほしいということで、「水分ひとしぼり運動」ではなくて「水分もうひとしぼり運動」にした方が良いでしょう。

委員：町役場で配布している水切りネットの目が細かく、水分が出にくいと感じますが、目の粗いタイプもあるのでしょうか？

事務局：町役場で配布しているものは 1 種類ですが、お店によっては 20 種類程度置いてあるところもあります。また、絞るのが嫌だという人には紙袋形式になっている物もあります。絞ってくださいとお願いをすると、手が汚くなるとか、高齢者は力がないから無理という声もありますが、絞ることにこだわらず水を切っただけであれば良いので、水が蒸発するように一晩置く等色々工夫をして水分を減らす努力をお願いしています。

委員：今まで食べていた物が手元を離れてシンクに入ってしまうと、生ごみになってしまい絞るのが嫌だと言う人もいます。そもそも無駄に生ごみを出させないために三角コーナーを置かないという方法や、水を切るために三角コーナーを斜めに置いたり、または手で絞るのが嫌な時はペットボトルを利用した方法で絞れる等、具体的なできる事をもっと発信していった方が良いでしょう。

委員：コンポストに虫が湧く時には、防虫剤のパラゾールをみかんのネット等に入れて紐で蓋の裏に括り付けると虫が湧きませんので、虫が湧いて困っているといったお話があったらその方法をお伝えしてください。

委員：生ごみ処理機の補助に電動型も含まれていますが、電気を使ってまで生ごみ処理機を使用しなくてはいけないのかと疑問でして、チップ等の入れ替えの必要もあることから、電動型の利用を辞めてしまった方が多いようです。

事務局：現在、非電動型と電動型の両方を補助対象としていますので、電動型を買ったけど非電動型を始めたいという場合でも補助を出しています。

委員：分かりやすく、すごく良い内容でした。水分が減れば処理費等もだいぶ変わると思いますので、まずは水分を減らしていただくことを考えて、簡単な内容で進めてほしいです。

会長：このような説明会は、企画する側はあれもこれもやりたいと内容が膨らみますが、来る人の立場になって考えると、とりあえず1回目だから説明会を設けたことが一番の成果だと思って繰り返しやるのが大切です。その間に少しずつプラスアルファを入れて説明会を繰り返していけば良いです。また、説明後の質疑応答は様々な内容があり、新たな課題や気が付くこともあると思いますので、それを大事にしてもらいたいです。

事務局：わかりました。

(2) 水切りキャンペーンについて

『水切りキャンペーンについて説明』

【質問・意見】

委員：水切りのお願いを広報車で流しながら回ることについて、テープを流しながら通り過ぎてしまうと、何言っているのか分からない事があるので、拠点、拠点に止まってテープを流した方が良いです。

会長：何の放送なのか理解してもらうために、「水切りキャンペーン」と言う所を聞き取りやすく伝えた方が良いです。

委員：いきなり水切りキャンペーンと言うのではなくて、先に「ごみを減らすため」と言った方が良いです。

会長：聞く方は心の準備をして聞いているわけではないですからね。今年度は職員が積極的に出回ってくれて、ありがたいと思っています。

事務局：わかりました。

委員：キャンペーン期間中に、標語やロゴマークを募集したらどうですか？

事務局：職員の間でもそういった話が出ましたが、今回は間に合わないので今後検討いたします。

委員：環境づくりフォーラム展で水切りネットを配ることについて、子どもを使って何回ももらおうとする人もいますから、30枚入りの水切りネットはもったいないので、10枚入りで良いような気がします。

会長：もらった物を全て使ってもらえるなら良いですが、ゲーム感覚でもらうのが楽しくて、結局捨てられたら無駄になると思います。

事務局：職員が説明しながら手渡すので、30枚入りで良いと思っていますが、10枚入りと30枚入りの両方を持って行き、状況で使い分けます。

(3) その他について

事務局：第2回ごみ減量化推進協議会は、10月頃を予定しています。ごみ減量化地域説明会の結果報告と今後の広域化の話等、来年度に向けて議論していく事が多くありますので、よろしく願いいたします。

【質問・意見】

委員：高齢で一人暮らしの方が増えてきています。ごみの集積所まで出しに行けないと言う状況の方も出てきていますが、町役場にはそのような報告はきていますか？

事務局：時々あります。そういう方はまだ件数が少ないですから、その時々状況に即した方法を検討しながら個別対応しています。今後、高齢化が進んでいることを鑑みて、全世帯を個別収集にするのか、一定の対象だけを個別収集にするのか検討が必要になると思います。また、大型ごみのコール制について、平塚市、大磯町は行っていますので、今後広域化になるにあたって、二宮町も組み入れていくのかの検討も重ねていきます。

委員：ごみ置き場の掃除を当番制で行っていますが、未分別で出されてしまう事があり、結局当番の方が全部分けて収集の時に出す等、負担になってしまっています。

事務局：あまりにもひどいようであれば、その実状に応じた注意喚起の看板を作ってお渡しすることができます。

会長：ご意見ありがとうございました。以上で会議を終了いたします。

事務局：ありがとうございました。